



まちづくり計画課都市景観担当・TEL内線3211

ここ数年、景観ということばが、さまざまなところで取り上げられています。今までのまちづくりは、経済性や効率性、機能性を重視した結果、美しさへの配慮が欠けていました。一方、多くの市町村で行われてきた独自の施策や、社会の成熟に伴う良好な景観に対する関心の高まりが、景観法を成立させました。

川越には、蔵造りなどの伝統的建造物や神社の持つ歴史的景観、河川や田園が織り成す自然景観など、多様な景観に恵まれています。そこで昭和六十三年に、県内でもいち早く都市景観条例を制定し、景観行政に取り組んできました。

この条例は、川越の優れた都市景観の保全および創造を図ることにより、魅力あふれる快適な都市を実現することを目的としています。屋外広告物に関する権限も、平成十五年に、埼玉県から移譲されました。



まちの文化の高さが、優れた景観につながります。景観を守るためには行政だけでなく、市民の皆さんひとりひとりの意識が大事です。これから市民の皆さんといっしょに美しい川越のまちづくりを考えていきたいと思っています。

人権教育シリーズ

## 児童・生徒の作文⑨

教育指導課指導係・TEL内線2925

平成十六年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけぼの」から、作品を紹介いたします。

### 体が不自由となつて①

中学三年生

私は身体障害者手帳を持つている。生徒手帳と同じくらいの大さの赤い手帳だ。中を開くと「要介護、等級二級、障害名、皮膚筋炎による四肢機能障害」と書いてある。

私は体が不自由となり、今、車椅子で登校している。昨年までは元気に遊びまわっている普通の中学生だった。

一年前、首が赤くただれ、手足の筋肉に痛みを感じるようになってきた。だんだん体がだるくなり、歩くことも立つこともつらくなってきた。医者に皮膚筋炎と診断されてすぐに入院した。これは免疫異常の病気で薬で症状がよくなるが、同時に危険な副作用が出てしまう。私の場合もなかなか合う薬が見つからなかった。やっと合う薬が見つかったと思ったら、激しいけいれんを起こし、そのまま十六日間眠り続けた。頭には脳波の器具、口には人工呼吸器、鼻にはチューブ、胸にはカテーテル、手

足には点滴……



体中つながれっぱなしで眠り続けた。肺にも心臓にも水がたまり、胃からは出血。人間は意識がなくなるのだんだん内臓が弱っていくらしい。母はひたすら私の意識が戻ることを祈り、私の命を見つめ、何の反応も示さない私に向かって話しかけ、歌をうたって聞かせたそうだ。母は、

「苦しそうにゆがんでいたあなたの顔がだんだん穏やかになって、赤ちゃんみたいにかわいらしくなってきたんだよ。『このあつたかい命のぬくもりを奪われてたまるか、あなたに闘う力がないならこのお母さんが闘ってやる』って思っていたんだよ。」

と話してくれたが、私は全然覚えていない。私の命がそんなに激しい闘いと深い愛で守られていたなんて。ただいつものように目を覚ましたら私をじっと見つめる母がいた。

\*ふりがなは広聴広報課で付けました。(つづく)

## 投票率向上のために

選挙管理委員会事務局・TEL内線3713

### ●目指せ！ 投票率51%

川越市で最近実施した選挙の投票率は、国にかかわる選挙（国政選挙）ではかろうじて50%を超えました。しかし、このほかの選挙は50%を下回り、非常に低い投票率となっています。

全国的に見られる低投票率の状況を解消するために、次の地方選挙における投票率の目標を、まずは「51%」として、投票率向上の活動を実施することにしました。有権者の皆さんが、ご家族・ご近所で誘い合わせて投票所へ出かけたくなるよう、今後は「目指せ！ 投票率51%」を合言葉に、啓発活動を頑張っていきます。

皆さんの1票は、川越の将来に対する「夢・希望」につながっていきます。



埼玉県の選挙統一キャラクター「選挙くん」

# みんなの作文

四月からは私の番

高階北小学校六年

加藤倭子

私は三月の六年生を送る会で「また会う日までさようなら」を歌いました。歌詞を一つ一つ考えながら心をこめて歌いました。そして、私たち五年生が四月からはみんなをひっぱって行くので安心して卒業して下さい、という気持ちをこめて六年生を送りました。

いよいよ四月からは「学校の機関車」——今までの六年生に続きます。私の父も、兄も、ずうつとうけついでできたバトンが、今、私にまわってきたのです。私と同じ「学校



の機関車」になるみんなと力を合わせて、今までの六年生に負けない立派なリーダーになりたいと思います。そのためには、今までの六年生がみんなのためにやってきたことを、しっかりとひきつがなければいけません。一年生から六年生までが一緒に活動する「なかよし活動」のリーダー、委員会ではみんなの中心になって働くこと、クラブではみんなのお手本になること、通学班ではみんなの安全を守るために先頭になって歩いていくこと——低学年の子のことも考え、みんなのために一生懸命に働きたいと思います。

そして、私たちの次に続く子たちの良いお手本になれるように、責任を持って、「学校の機関車」としての役目は果たしていきたいと思えます。

\*この作文は昨年度に書かれたものです。  
\*ふりがなは広聴広報課で付けました。

## おしゃべり倶楽部 204 植物あらかると

### プリムラ



高山をはじめ、北半球のさまざまな地域が原産。主に英国で改良され、日本に渡来したため「西洋サクラソウ」と呼ばれるようになりました。県の花「サクラソウ」と同じ、サクラソウ科に属しています。

プリムラという名は「最初の」という意味を持ち、ほかの草花よりも早く咲くことから名付けられました。なんと500以上の種類があり、中には11月中旬から咲く物も……。春真っ盛りのこの時期まで、さまざまな花を楽しめます。写真は、「ジュリアン」という種類。比較的新しく改良され、丈は低いものの大きくて多様な色の花が咲きます。

## 短歌

四元仰・選

沈丁花赤きつぼみの押しあいてほころぶ花に雨降りそそぐ  
冷え込みの強き朝なり桶の水溢るるままにつららとなれり  
子供等の背丈しるしし柱にて孫を計りおり吾は老いつつ  
夕餉終えまどろみ居れば聞こえる水戸黄門のドラマの調べ  
亡き夫のスニーカー見れば涙わくしあわせ有りし通院の日々

## 俳句

石川俊一・選

それぞれの風に真向い卒業す  
丸き背の母の面影桜草  
箱根路の雪に明りの点々と  
動かざる川面の緑春浅し  
軽やかに子供の駆ける春霞

## 川柳

小川正夫・選

あの親の娘ならと押し太鼓判  
赤い糸結び直して古希迎え  
いい予感あつて歩幅も広くなり  
新しい門出にむかい空仰ぐ  
桜咲き夢一杯のランドセル

### 応募方法（6月掲載分は4月28日(金)必着）

- 短歌部門＝当季雑詠3首まで、俳句部門＝当季雑詠2句まで、川柳部門＝雑詠3句まで
- 市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり
- ハガキに部門・作品・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広聴広報課

- 有田杉江(南台二丁目)
- 大川ふじ(下小坂)
- 大槻和子(霞ヶ関東三丁目)
- 小久保良種(西小仙波町二丁目)
- 雪田千代(霞ヶ関東四丁目)